

3 本時案④【活用場面②】（6時間目／7時間中）

(1) 本時のねらい

- ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- ・友達の考えを認めることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

- ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。（思考・判断・表現）
- ・友達の考えを認めようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 15分	1 挨拶、健康観察、準備運動 2 補助運動 3 本時のめあてと評価項目の確認	
	めあて 課題の解決のために考えたことを友達に伝えたり、友達の考えを認めたりしながらゲームをしよう	
なか 25分	評価 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。（思考・判断・表現） ・友達の考えを認めようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）	
	○本時のめあてと評価項目を確かめ、態度面でのルーブリックを考え、それを基に自分にあつためあてを選ぶ。 ・ボールをゴールに持ち込むことができるようになるためのよりよい方法を伝えたり、その考えを認めたりすることで、メンバー全員が得点に関わる動きができるようにする。必要に応じて前時までの姿を紹介する。 ・児童から出された望ましい態度を児童が感じている難易度を基に整理し、ルーブリックとして位置付ける。 ・ルーブリックを整理できたら、それを基に自分のめあてを選ばせる。	【おおむね満足】 <sup>(観察)</sup> 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 【十分満足】 考えたことをいろいろな方法で
まとめ 5分	4 活動Ⅰ 2対2 ○2対2を行いながら、作戦が自分たちの課題の解決になっているかをペアで伝えたり、認めたりすることでよりよい課題解決につなげる。 ・2対2に取り組ませる。「作戦を選ぶ→試す（攻め）→振り返る」をペアで繰り返して取り組ませる。特に、自分たちで選んだ作戦が2人とも得点できる動きにつながっているかを振り返り、共有させる。うまくいっていない場合は、2人が納得した上で作戦変更するように伝える。 ・見る側の児童は、攻め側の友達のよい動きだけでなく、アドバイス等も付箋に記入し、全体のホワイトボードに貼り、共有できるようにする。	詳しく伝えている。 【努力を要する児童への手立て】 試してみてもよいと感じたものを伝えさせる。 【おおむね満足】 (観察・ワークシート) 友達の考えを認めようとしている。
	5 活動Ⅱ 4対4 ○活動Ⅰで試したこと等を生かしながら4対4のゲームに取り組む。 ・「チームタイム（作戦の確認：15秒）→ゲーム（作戦を試す：2分）→チームタイム（試したことの振り返り：60秒）」を3回行う。特に、自分たちで選んだ作戦が4人とも得点できる動きにつながっているかを振り返り、共有させる。うまくいっていない場合は、4人が納得した上で作戦変更するように伝える。 ・ゲーム前後の挨拶、フェアプレー等の確認をゲームのたびに行う。	【十分満足】 友達の考えを認め、肯定的に意見を返そうとしている。
まとめ 5分	6 本時の振り返り ○本時の学習を振り返り、共有する。 ・ワークシートに記入させ、ペアやチームで互いに伝えるようにする。 ・自分の考えを多くの方法で詳しく伝えている児童、友達の考えを認め肯定的に意見を返している児童等を称賛し、望ましい姿を広げる。	【努力を要する児童への手立て】 考えを認めるよさや大切さについて説明したり、考えさせたりする。
	7 片付け、整理運動、健康観察、挨拶	

〈ワークシートの例〉(第6時)

- 課題の解決のために、考えたことを友達に伝えることができましたか。  
よくできた。 まあまあできた。 できなかった
- 友達にわかりやすく伝えるために気を付けたこと等を詳しく書きましょう。
- 友達の考えを認めることができましたか。  
よくできた。 まあまあできた。 できなかった。
- 友達の考えを認めようとするときに頑張ったことを書きましょう。
- 友達の考えを聞いていいなあと思った友達とそのわけを書きましょう。  
 いいと思った友達  そのわけ
- ◆授業の感想、気付いたこと、学んだこと等を詳しく書きましょう。

〈第6時のルーブリックの例①〉

【友達の考えを認めること】

〈第6時のルーブリックの例②〉

【友達に考えを伝えること】

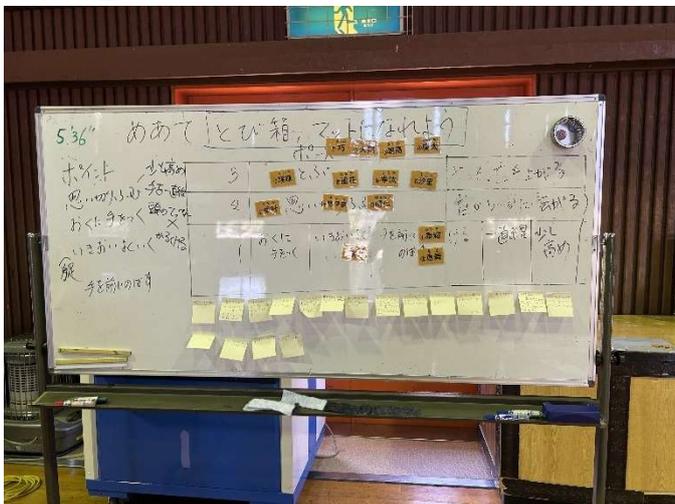
〈他の実践でのルーブリックの作成事例〉

【水泳で】



1級	ビート板片手(反対も)	ビート板両手	面かぶりクロール	
2級	けのび4の線まで	水中じゃんけん (掛け声から水中)		
3級	けのび2の線まで	ロケット点火	水中じゃんけん (じゃんけん時のみ水中)	
4級	だるまうき	ふしうき	大の字うき	けのび1の線まで

【器械運動で】



レベル3	跳ぶ 着地後ポーズを取る		前転の流れで立ち上がる			
レベル2	ロイター板を思いっきり踏み込む					
レベル1	奥に手をつく	勢いをつけて助走する	手を前に伸ばす	スタート時にしっかりける	足を一直線にする	構えは少し高め